

院外処方箋に記載されている検査値一覧表（作成日：2022年10月18日）

略名	項目名称	基準	単位	検査内容
AST	アミノ基転移酵素	13~30	U/L	肝臓にどのくらい負担がかかっているか、肝細胞障害の程度を表します。主に肝炎、脂肪肝、肝硬変で高くなります。他にも筋・血液疾患でも増加することがあります。また、LDHでは採血時の変化で赤血球が壊れてしまい(溶血)高くなることもあります。
ALT		男 10~42 女 7~23	U/L	
T-BIL	総ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL	黄疸の程度を示します。肝胆道系疾患、ある種の貧血で高くなります。また、体質が関係する場合もあります。
CK	クレアチンキナーゼ	男 59~248 女 41~153	U/L	骨格筋、心筋、赤血球に含まれる酵素で筋肉の障害の程度を表します。心筋梗塞・筋疾患・ある種の薬剤の影響で高くなります。また、運動後にも高くなります。
CRE	クレアチニン	男 0.65~1.07 女 0.46~0.79	mg/dL	腎臓の働きをみる検査です。腎臓から尿に排泄される老廃物なので、腎臓機能が低下すると増加します。クレアチニンは筋肉に由来する物質なので、筋肉量の多い人はやや高め、少ない人はやや低めとなります。e-GFRは血清クレアチニン値から計算された、腎機能の指標です。体表面積1.73m ² あたりの値で示されています。
e-GFR	推算糸球体ろ過量	60以上	mL/分/1.73m ²	
Na	ナトリウム	138~145	mmol/L	電解質といい、生体内の機能を維持するため一定のバランスに保たれている物質です。腎機能低下、脱水、ホルモンの異常などでバランスが変わります。
K	カリウム	3.6~4.8	mmol/L	
HbA1c	ヘモグロビンA1c (NGSP)	4.9~6.0	%	赤血球中のヘモグロビンが糖と結合したもので、過去1~2か月間の平均的な血糖状態を反映します。
CRP	C反応性蛋白	0.00~0.14	mg/dL	体内の炎症や組織の破壊などがあると高くなります。
WBC	白血球数	3.3~8.6	10 ³ /μL	血液の細胞成分には白血球、赤血球、血小板があります。白血球数は、好中球やリンパ球などの成分の総数を表します。細菌やウイルスから身体を守る働きがあり身体の中で炎症がある場合や感染症、血液疾患等で変化します。ヘモグロビンは赤血球中の酵素を運ぶ物質です。血小板は出血を止める働きをし、血液疾患等で増減します。
Hb	ヘモグロビン(血色素量)	男 13.7~16.8 女 11.6~14.8	g/dL	
PLT	血小板数	158~348	10 ³ /μL	
PT-INR	プロトロンビン時間 国際標準比			抗凝固薬(ワルファリン)服用中の薬効評価の指標です。血液が固まる(凝固)ために必要な、たんぱく質の働きなどを総合的に判断するPT検査結果を、国際的標準表示方法で表したものです。